

宮城県看護協会訪問看護総合センター主催 訪問看護師技術研修が開催されました

6月10日と7月22日に宮城県看護協会訪問看護総合センター主催による、これから在宅看護に従事する看護師向けの訪問看護技術研修が開催されました。内容はフィジカルアセスメントに関することで、宮城県内の訪問看護事業所から合計で31名の参加がありました。講師は名古屋大学名誉教授の山内豊明先生です。

参加者はまず初めに呼吸音の聴診について講義を受け、その後、呼吸音聴診シミュレータ【ラング】を使用して聴診の実技を行いました。まず正常な呼吸音の聴診を行い、その後、断続性副雑音と連続性副雑音の違いについてそれぞれ聴き比べました。参加者は、それぞれの肺音の特徴について山内先生からアドバイスを受けながら繰り返し聴診を行っていました。続いて、6体のシミュレータそれぞれに違う肺音を流し、1分ずつ聴き取りを実施し習熟度の確認を行いました。最後に答え合わせを行い、各々難しいと感じた肺音に関しては復習を行うことでより理解を深めることができたようです。

お昼休憩を挟み午後は心雑音の聴診について講義と演習を行いました。演習では、心音・心雑音の聴診が可能な心臓病診察シミュレータ【イチロー】というシミュレータを使用し、現場で役立つ知識と技術を身に付けることができました。

